



## 「絵本とわらべうたの会」2022年度④

日時 7月12日(火) 10:00~11:00  
場所 西公民館 2階 和室  
申込み 6月10日(金)~

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひとときを過ごします。絵本の読み聞かせもあります。コロナ感染対策のため申し込みが必要です。詳しくはチラシをご覧ください。

## 市民読書サポーターのいる日程 6月

|                            |        |
|----------------------------|--------|
| 富士宮市立中央図書館<br>(10時~11時30分) |        |
| 4日(土)                      | 11日(土) |
| 18日(土)                     |        |

### 放課後児童クラブでの読み聞かせ

貴船児童クラブ、大富士児童クラブ、富丘児童クラブ、東児童クラブから依頼を受け読み聞かせにいきました。子どもたちは「こんにちは。待っていたよ」と喜んで迎えてくれました。「今日はおはなしと絵本を2冊もってきました」というと何が始まるのかとそばに寄ってきます。『ひなどりとネコ』という昔話で、ひなどりがネコにやるはずのケーキを「みんな食べてしまいました」というと、「えっ—どうするの」「食べちゃった—」とこれからのひなどりがどうなるのか心配したり、『はなをくんくん』では絵本の絵にみんなが集中して一輪だけ咲いた黄色い花が出てくるとあっと息のみ、『しずくのぼうけん』ではバケツから飛び出した水のしずくの変化に「こおりになったよ」とか「どこにいる?」と絵をよく見ようと子どもたちがいて、素直な反応があり、楽しいひとときを共有することができました。コロナ禍の中でも、対面での読み聞かせが子どもたちにとって必要だと思い、準備してくれる大人がいることをうれしく思います。そして、「またきてね」の声に「またくるね」と答えてきましたが、実現することを願っています。



(市民読書サポーター 若林清美)

## 絵本の紹介



### おやすみなさい おつきさま

マーガレット・ワイス・ブラウン さく  
クレメンド・ハード え  
せたていじ やく  
評論社

子うさぎがベッドに入って部屋の中を見回して、「おやすみ あかいふうせん」「おやすみ こねこさん」「おやすみ とけいさん」…と語りかける。「おやすみ」の繰り返しが心地いい。

絵は緑色の壁、赤い絨毯、窓の外白い月、群青の空など色づかいが美しい。窓の外月が高く昇るにつれ、しだいに部屋が暗くなっていき、子うさぎは眠りにつく。単純だが深い満足感を与えてくれる。



### おだんごぼん

ロシア民話  
せたていじ 訳  
わきたかず 絵  
福音館書店

おじいさんが、おばあさんに頼んで焼いてもらったおだんごぼんは、食べられてなるものかと二人のもとから逃げ出す。ころころ転がっていくうちに、うさぎ、おおかみ、くまに会って食べられそうになるが、愉快的な歌をきかせて逃げてしまう。でも、きつねに歌をほめられ鼻の上やしたべろの上で歌ううちに食べられてしまう。リズムのある繰り返しの言葉がたのしいロシアの昔話。